

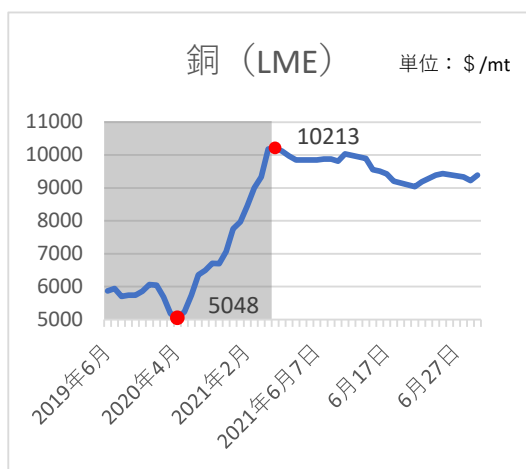
# 非鉄金属概況

日本鉱業協会 企画調査部

## 銅

### 【海外】

#### 1. 価格推移



(2019年6月～2021年5月の値は月平均)

- 米金融政策への警戒や中国政府の国家備蓄放出発表などにより下落傾向
- 6月21日は4月14日以来の安値となる\$9,042.50

#### 2. 需給動向

国際銅研究会(ICSIG)の6月21日発表によると、2021年1～3月の世界の銅需給実績は以下のとおりで、需給バランスは12.9万tの供給過多だった。

<2021年1～3月の世界の銅需給実績表>

単位:千トン

	2021年1～3月 実績	2020年1～3月 実績	増減率	2021年年間予測 (2021年5月発表)
鉱石生産	5,111	4,927	+3.7%	21,321
地金生産	6,094	5,861	+4.0%	25,167
地金消費	5,965	5,707	+4.5%	25,088
需給バランス	+129	+154		+79

(うち、中国の銅需給実績)

	2021年1～3月 実績	2020年1～3月 実績	増減率
鉱石生産	443	385	+15.0%
地金生産	2,487	2,290	+8.6%
地金消費	3,230	2,859	+13.0%

(出典) 国際銅研究会

## 【国内】

### 1. 建値推移(千円/t)

6月1日	6月4日	6月9日	6月16日	6月18日	6月23日	6月25日
1,170	1,130	1,140	1,100	1,060	1,070	1,090

### 2. 銅地金生産・出荷・生産者在庫(2021年5月分=令和3年5月分)

	2021年5月	2021年4月比	2020年5月比
生産	127,627 t	+4.6%	-3.8%
出荷	115,972 t	-25.7%	-2.6%
在庫	95,366 t	+17.4%	-18.9%

(出典)日本鉱業協会

生産は前月比が2か月ぶりの増加、前年同月比は2か月ぶりの減少となった。出荷は前月比が3か月ぶりの減少、前年同月比は2か月ぶりの減少。内訳は内販が前月比16.8%減、前年同月比22.8%増の7.2万tで、それぞれ3か月ぶりの減少と3か月連続の増加。内販のうち電線向けは前年同月比20.4%増の4.5万tで3か月連続の増加、伸銅品向けは前年同月比36.0%増の2.6万tで2か月連続の増加。在庫は前月比が3か月ぶりの増加、前年同月比は2か月連続の減少となった。

### 3. 需要部門別動向

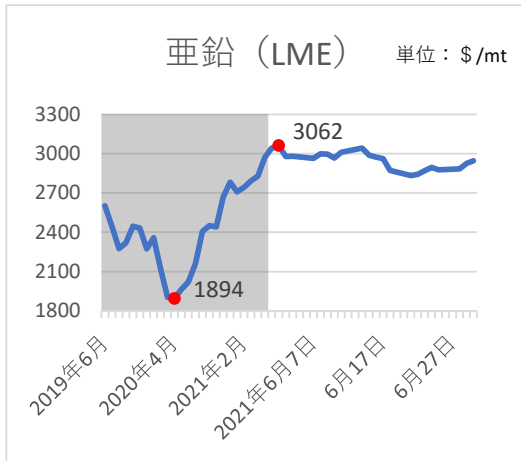
(一社)日本電線工業会によると、2021年5月の銅電線出荷は前年同月比9.1%増の4.6万t(推定)と2か月連続の増加となった。うち内需は前年同月比8.2%増の4.5万tで3か月連続の増加、輸出は80.4%増の900tで2か月連続の増加。内需の部門別では、電気機械が9か月連続、自動車が8か月連続、建設・電販が16か月ぶりの増加、通信が4か月連続、電力が4か月連続の減少となった。

(一社)日本伸銅協会によると、2021年5月の伸銅品生産は前年同月比27.5%増の6.1万t(速報)と5か月連続の増加となった。品種別には、半導体、コネクタ、自動車端子向けの銅条が前年同月比33.2%増で8か月連続の増加。自動車端子向けの黄銅条は40.3%増で7か月連続の増加。コネクタ向けの青銅板条は45.9%増で3か月連続の増加。エアコン向けの銅管は16.9%増で2か月連続の増加となった。

## 亜鉛

### 【海外】

#### 1. 価格推移



- ・ 中旬は中国政府の国家備蓄放出発表により小幅に下落
- ・ 6月21日は4月23日以来の安値となる\$2,832

(2019年6月～2021年5月の値は月平均)

#### 2. 需給動向

国際鉛亜鉛研究会(ILZSG)の6月21日発表によると、2021年1～4月の世界の亜鉛需給実績は以下のとおりで、需給バランスは3.1万tの供給過多だった。

〈2021年1～4月の世界の亜鉛需給実績表〉

単位：千トン

	2021年1～4月 実績	2020年1～4月 実績	増減率	2021年間予測 (2021年4月発表)
鉱石生産	4,134	3,713	+11.3%	12,924
地金生産	4,634	4,435	+4.5%	14,128
地金消費	4,603	4,179	+10.1%	13,775
需給バランス	+31	+256		+353

(うち、中国の亜鉛需給実績)

	2021年1～4月 実績	2020年1～4月 実績	増減率
鉱石生産	1,243	1,150	+8.1%
精鉱輸入	632	698	-9.4%
地金生産	2,120	1,994	+6.3%
地金輸入	172	98	+75.5%
地金消費	2,206	1,949	+13.2%

(出典) 国際鉛亜鉛研究会

## 【国内】

### 1. 建値推移(千円/t)

6月1日	6月4日	6月14日	6月18日	6月25日
388	379	385	370	376

### 2. 亜鉛地金生産・出荷・生産者在庫(2021年5月分=令和3年5月分)

	2021年5月	2021年4月比	2020年5月比
生産	45,766 t	+1.4%	+7.9%
出荷	38,119 t	-12.8%	+11.2%
在庫	68,854 t	+12.5%	-9.7%

(出典)日本鋳業協会

生産は前月比が2か月ぶりの増加、前年同月比は3か月連続の増加となった。出荷は前月比が2か月連続の減少、前年同月比は8か月連続の増加となった。在庫は前月比が2か月連続の増加、前年同月比は6か月連続の減少となった。

### 3. 需要部門動向

2021年4月の亜鉛めっき鋼板生産は前年同月比32.9%増の79.0万tで、2か月連続の増加となった。

(一社)日本伸銅協会によると、2021年4月の伸銅品生産は前年同月比13.0%増の67,555t(確報値)で、4か月連続の増加となった。黄銅製品では、黄銅条が20.3%増の8,835tで6か月連続の増加。黄銅棒が17.8%増の16,027tで3か月連続の増加となった。

### 亜鉛関連製品生産統計(2021年4月分=令和3年4月分)

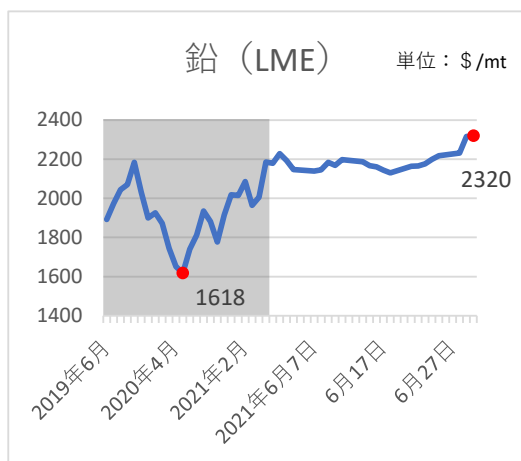
	2021年4月	2021年3月比	2020年4月比
亜鉛めっき鋼板	790千 t	-8.0%	+32.9%
黄銅製品	27,941 t	-3.8%	+17.6%
亜鉛ダイカスト	1,342 t	-28.3%	+23.9%
酸化亜鉛(亜鉛華)	4,773 t	-8.4%	+15.5%

(出典)一般社団法人日本鉄鋼連盟、経済産業省生産動態統計調査

## 鉛

### 【海外】

#### 1. 価格推移



- ・ 前月に引き続き \$2,100 台から \$2,200 台を推移
- ・ 6月30日は2018年7月以来の高値となる \$2,319.50

(2019年6月～2021年5月の値は月平均)

#### 2. 需給動向

国際鉛亜鉛研究会(ILZSG)の6月21日発表によると、2021年1～4月の世界の鉛需給実績は以下のとおりで、需給バランスは1.8万tの供給過多だった。

<2021年1～4月の世界の鉛需給実績表>

単位：千トン

	2021年1～4月 実績	2020年1～4月 実績	増減率	2021年間予測 (2021年4月発表)
鉱石生産	1,488	1,365	+9.1%	4,748
地金生産	4,024	3,633	+10.8%	12,068
地金消費	4,005	3,603	+11.2%	11,972
需給バランス	+18	+30		+96

(うち、中国の鉛需給実績)

	2021年1～4月 実績	2020年1～4月 実績	増減率
鉱石生産	586	552	+6.3%
精鉱輸入	195	206	-5.3%
地金生産	1,653	1,441	+14.7%
地金輸入	8	4	+101.9%
地金消費	1,628	1,463	+11.3%

(出典) 国際鉛亜鉛研究会

## 【国内】

### 1. 建値推移(千円/t)

6月1日	6月18日
300	294

### 2. 鉛地金生産・出荷・生産者在庫(2021年5月分=令和3年5月分)

	2021年5月	2021年4月比	2020年5月比
生産	17,872 t	+5.0%	-2.1%
出荷	13,881 t	-11.5%	+15.8%
在庫	13,764 t	+41.0%	-25.3%

(出典)日本鉱業協会

生産は前月比が2か月連続の増加、前年同月比は3か月ぶりの減少となった。出荷は前月比が3か月連続の減少、前年同月比は7か月連続の増加となった。在庫は前月比が2か月連続の増加、前年同月比は7か月連続の減少となった。

### 3. 需要部門動向

2021年4月の自動車生産台数は前年同月比64.4%増の72.1万台で、2か月連続の増加となった。また、二輪車生産台数は前年同月比58.7%増の5.7万台で、3か月連続の増加となった。

(一社)電池工業会によると、2021年4月の自動車用鉛蓄電池のメーカー販売個数は、新車用、補修用、二輪車用を合わせた総合計で184.7万個(前年同月比24%増)と2か月連続の増加、自動車用以外の鉛蓄電池は42.9万個(8%減)と4か月連続の減少となった。その結果、鉛蓄電池のトータル出荷は227.6万個(17%増)となった。

### 鉛関連製品生産統計(2021年4月分=令和3年4月分)

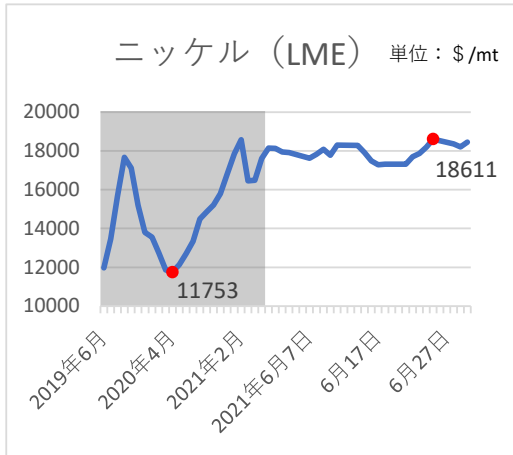
	2021年4月	2021年3月比	2020年4月比
自動車	721,363台	-17.1%	+64.4%
自動車用鉛蓄電池(鉛量 t)	15,586 t	-0.7%	+11.1%

(出典)一般社団法人日本自動車工業会、経済産業省生産動態統計調査

## ニッケル

### 【海外】

#### 1. 価格推移



- ・ 前月に引き続き \$ 17,000 台から \$ 18,000 台を推移

(2019年6月～2021年5月の値は月平均)

#### 2. 需給動向

国際ニッケル研究会 (INSG) の 6 月 21 日発表によると、2021 年 1～4 月の世界のニッケル需給実績は以下のとおりで、需給バランスは 3.5 万tの供給不足だった。

<2021年1～4月の世界のニッケル需給実績表>

単位：千トン

	2021年1～4月 実績	2020年1～4月 実績	増減率	2021年年間予測 (2021年4月発表)
鉱石生産	823	713	+15.4%	2,824
地金生産	853	780	+9.3%	2,718
地金消費	888	732	+21.3%	2,673
需給バランス	-35	+49		+45

(うち、中国のニッケル需給実績)

	2021年1～4月 実績	2020年1～4月 実績	増減率
鉱石生産	34	34	+0.3%
地金生産	248	237	+4.7%
地金消費	497	400	+24.1%

(出典) 国際ニッケル研究会

### 3. 供給障害

#### ◆ ヴァーレ、ストライキによりサドベリー・ニッケル鉱山の操業を停止(カナダ)

ヴァーレ(ブラジル)は6月1日、加オンタリオ州のサドベリー・ニッケル鉱山において労働組合のストライキが開始されたことから、操業を停止したことを発表した。賃金や福利厚生に関する労働協約をめぐる、同鉱山の作業員約2,500人が所属する全米鉄鋼労組(USW)第6500支部がストライキを開始。その後、6月12日にヴァーレは新たな労働協約案を提示したが、同支部は14日に再び拒否した。なお、約100人の作業員が所属するUSW第6200支部とはすでに合意に至っているとしている。

サドベリー・ニッケル鉱山は2020年に4.3万tのニッケルを生産。USW第6500支部による同鉱山でのストライキは、2009年7月から約1年間にわたり続いたストライキ以来の実施となる。

#### ◆ ノリリスク・ニッケル、タイミルスキー鉱山の操業を再開(露)

ノリリスク・ニッケル(露)は6月4日、地下水の浸水により操業を一部停止していたシベリアのタイミルスキー鉱山の操業を再開したことを発表した。当面は40%の稼働率で操業し、6月末までに全面復旧する。ノリリスク・ニッケルでは2月12日、坑内で地下水の流入を確認したことからオクチャブリスキー鉱山とタイミルスキー鉱山の操業を一部停止。オクチャブリスキー鉱山は4月に操業を再開し、5月に全面復旧していた。両鉱山では2020年に560万tの硫化鉱の銅鉱石とニッケル鉱石を生産しており、同社国内生産の36%を占めている。

#### 【国内】

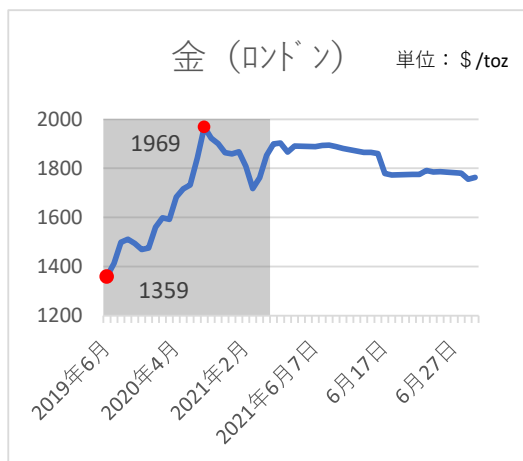
#### メタルニッケル生産・出荷・生産者在庫(2021年5月分=令和3年5月分)

2021年5月の生産量は2021年4月比18.0%減、2020年5月比6.9%減の4,182tで、それぞれ2か月連続の減少と3か月ぶりの減少となった。



## 金

### 【海外】 価格推移



- ・ 月前半は \$ 1,900 近辺を推移
- ・ 後半は米早期利上げ観測で下落

(2019年6月～2021年5月の値は月平均)

### 【国内】

#### 1. 建値推移(円/g)

6月1日	6月2日	6月3日	6月4日	6月7日	6月8日	6月9日	6月10日
6,741	6,728	6,747	6,652	6,680	6,719	6,692	6,675
6月11日	6月14日	6月15日	6月16日	6月17日	6月18日	6月21日	6月22日
6,707	6,618	6,616	6,594	6,500	6,342	6,305	6,349
6月23日	6月24日	6月25日	6月28日	6月29日	6月30日		
6,369	6,368	6,361	6,347	6,337	6,285		

#### 2. 金地金生産・出荷・生産者在庫(2021年5月分=令和3年5月分)

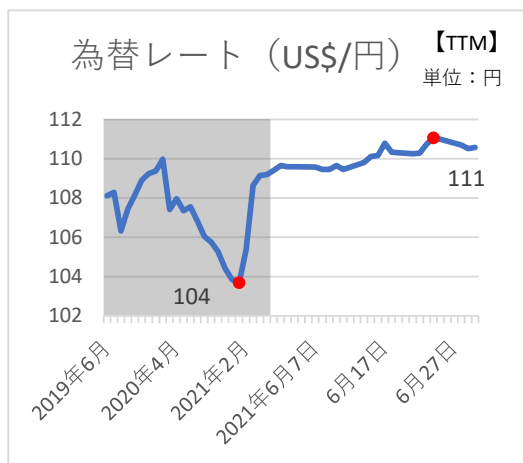
	2021年5月	2021年4月比	2020年5月比
生産	8,587kg	+6.7%	+1.6%
出荷	8,314kg	+3.7%	+2.4%
在庫	4,140kg	+7.1%	-2.1%

(出典) 経済産業省生産動態統計調査(生産と出荷の前年同月比については、以前の実績との間で不連続を生じたため、連続性を確保したもので計算)

生産は前月比が2か月ぶりの増加、前年同月比は2か月連続の増加となった。出荷は前月比が2か月ぶりの増加、前年同月比は8か月ぶりの増加となった。在庫は前月比が3か月連続の増加、前年同月比は14か月連続の減少となった。

## 為替相場

### 為替相場推移



- ・ 月後半は米早期利上げ観測で上昇傾向、\$1=109円台から111円台に

(2019年6月～2021年5月の値は月平均)